

ZSSSK

## 生活科・総合教育だより

全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会会報

全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会

事務局 東京都墨田区立緑小学校

〒130-0011 東京都墨田区緑 2-12-12

TEL 03-3634-6876

発行人 水谷 光一

編集人 長田 眞理子

生活科・総合的な学習の学びを全国に

全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会

会長 水谷 光一

(東京都墨田区立緑小学校校長)

平成30年度第1回全国理事会が、7月6日(金)にホテル東京ガーデンパレスにおいて開催されました。当日の理事会には、北は北海道、南は九州まで、多くの先生方においでいただく予定でしたが、豪雨のため、学校が避難所になったり、交通機関が不通になったりした為、急遽出席できなくなった先生方も多くいらっしゃいました。この豪雨で、災害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに一刻も早く復旧されますことを心からお祈りいたします。

そのような中、開催された理事会でしたが、全国から30名以上の理事の皆様がお集まりくださり、平成29年度の主な事業、決算をご承認いただき、併せて、30年度の事業案、予算案、役員案の承認とともに、全国大会及び各ブロックでの研究大会開催の情報等が提供されました。理事会でのご承認を受け昨年に引き続き、私が会長に承認されました。微力ではございますが、全国の生活科・総合的な学習の時間の普及・発展のために尽力してまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

神奈川県武山理事、赤松理事からは、昨年、大成功を収めた神奈川県大会の開催報告と、研究の盛り上がり今後につなげたいとご挨拶がありました。また、今年度の全国大会開催県である石川県の山岸理事からは、大会の案内と進捗状況ともに、多くの方には是非おいでいただきたいとお話があり、さらに、大雨の中、駆けつけていただいた兵庫県の酒井理事、新道理事は、神戸・明石・淡路を会場とする来年度の兵庫県の全国大会のお話をされました。

なお、今回の理事会では今後の全国大会について、初開催を希望する大分県に加え、神奈川県と東京都から手が挙がりました。結果として37回大会が大分県、38回大会が神奈川県、41回大会が東京都の開催と決まりました。理事会終了後にも、今後、立候補したいというお話を他県からもお聞きしました。悪天候にも関わらず、各地域からお集まりいただき、理事会が開かれたことは、生活総合が広がり深まり、つながり思いとなつて、盛り上がってきていると感じます。全生活総合の思いは一つ、「一人一人子ども達、主体の学びを大事にして、子ども達を未来に向けて育てたい」ではないでしょうか。

理事会後には、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 渋谷一典先生に「生活科・総合的な学習の時間移行期間における

取組への期待」と題してご講演をいただきました。大事なことは、平成32年度からの実施を見据え、中学校以降の教育における探究的な学習の円滑な接続・発展を図る観点から、探究的な学習の過程を一層重視し、質的な充実を図ることが求められていること。そして、全国に良い実践が生まれてきていることをお話しいただき、私たちにエールをいただきました。

さて、昨年は新学習指導要領が告示され、それぞれの教科領域の解説がでて、各地域で動きのあったことでしょうか。今各教科、領域の研究団体の研究主題も新学習指導要領の理念の実現を目指すものとなっています。そのような教育界の動きの中で、今回の改訂の理念を他教科等に先んじて実践してきた生活・総合的な学習の時間のこの協議会が、子どもが本気で課題に取り組んでいる姿を見せ、「主体的・対話的な学び」の範を示さなくてはならないのではないのでしょうか。

移行の措置として、総合的な学習の時間を英語に充ててよいとされたことについても、文部科学省の調査では今年度、総合的な学習の時間はそのまま70時間確保している学校が約72%以上でした。一方で、東京都小学校生総研究会の調査では、短い時間の単元も多くあるということが分かりました。地域との関わりを大事にするためにも総合的な学習の時間は重要であるが、社会から要請される教育課題を総合的な学習の時間で行っている実態もあるのかなと感じているところです。来年の兵庫大会では「学校・地域が変わること」をテーマにしていますが、生活・総合的な学習の時間が核となって社会を変えるようになることを期待しています。

全国において、北海道ブロックの北海道大会(6月16日・17日)をはじめ、今秋、東北ブロックの秋田大会(11月2日)、関東ブロックの東京大会(11月30日)、近畿ブロックの奈良大会(11月22日)、中国ブロックの広島大会(10月31日)、九州ブロックの大分大会(11月16日)が開催される予定です。是非、多くの皆様に大会に参加していただき、より探究的な取組や研究成果を持ち帰り、それぞれの地区で積極的に発信し、生活・総合を各地でますます盛り上げていただきたいと思います。

今年の石川大会のテーマは「つなぐ つなげる つながる」がキーワードになっています。今まで積んできた実践を大事にしてつなぎ、私たちもつながり、研究を深め、各都道府県の研究会、ブロックの研究協議会が発展し、生活科・総合的な学習の本質が日本全体に広がることを願っています。



# 石川大会の概要



「ふるさとの大地とともに輝け未来へ」  
新たな学びの物語 ～ つなぐ つながる つなげる ～

加賀百万石の城下町金沢を擁する石川は、今なお古き良き伝統や文化、自然が数多く残るところです。北陸新幹線の開通とともに国内のみならず海外からも、多くの観光客が訪れています。

世界農業遺産となっている能登の里山里海、加賀の霊峰白山、また県都金沢では、城下町としての家並みや当時の技法で復元されつつある金沢城、城から続く名勝兼六園に加えて、世界的にも評価が高い 21 世紀美術館等、石川は豊かな自然の恵みと伝統を大切にしつつ、常に新しさを取り入れながら発展してきました。

今回の大会では、これまでに積み重ねてきた授業実践を生かし、新しい学習指導要領を取り入れた石川の生活科・総合的な学習の時間を全国の皆様に発信していきたいと考えています。

【1日目】 11月8日(木) 石川県立音楽堂邦楽ホール

開会行事 13:00～13:30	来賓 文部科学省初等中等教育局教科調査官 石川県教育長・金沢市教育長・石川県小学校長会長 全生・総理事会顧問
基調提案 13:30～14:00	大会主題 「ふるさとの大地とともに 輝け未来へ」 副題 「新たな学びの物語 ～ つなぐ つなげる つながる ～」 めざす子ども像 主体的に取り組む子 協働的に創り上げる子 自己を見つめる子 研究の視点1 「つなぐ」 つけたい力を育むカリキュラムのあり方 研究の視点2 「つなげる」 深い学びを実現する指導のあり方 研究の視点3 「つながる」 学びに向かう力を生み出す評価のあり方
全体講評 指導講話 14:00～15:00	全体講評・指導講話 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 渋谷一典 先生  新学習指導要領の理念に基づき、各地で実践が始まっています。実施する際の大切にしたい視点等についてお話させていただきます。
記念講演 15:10～16:10	記念講演 國學院大學人間開発学部初等教育学科 教授 田村 学 先生  新学習指導要領に託した思いなどをお話いただけるのではと期待しております。



レセプション  
18:30～20:30

会場 ANAクラウンプラザホテル金沢（全体会場隣り）  
全国からの参加者と交流・親睦を深め、情報交換の場といたします。

【2日目】 11月9日（金） 金沢市立泉小学校 金沢市立兼六小学校

公開授業  
授業討議  
9:30～12:30



21世紀美術館（金沢市提供）



兼六園（金沢市提供）



西茶屋街（金沢市提供）

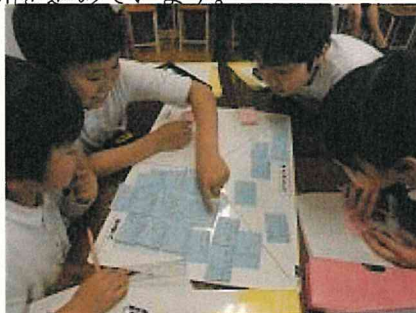
課題別分科会  
13:30～15:30

講評  
閉会行事  
15:45～16:30

### 【金沢市立泉小学校】

研究主題  
ともに学び 高め合う子  
～子供たちが主体的・協働的  
に探求する授業づくり～

「ともに学ぶ」とはお互いの存在を認め合いながら、子供たちが問題解決のために友達をはじめとして多様な「人・もの・こと」と豊かに関わり合いながら協働的に学ぶことであり、「高め合い」とは、学習における目的意識をしっかりともち、それに向かってともに学ぶ友達と意見を交わしながら思考していくことで、考えを深めたり広げたりしていくことと考えています。このような子供の姿を目指して、本校では、つきたい資質・能力を育む単元構成の工夫、主体的・対話的で深い学びを培う学習指導の工夫、次の学びにつながる評価の工夫の3点を重点として研究を進めています。



### 【金沢市立兼六小学校】

研究主題  
自ら考え、ともに学びを  
高め合う子の育成  
～豊かな対話を通して～

本校の学校教育目標「自ら考え行動する子の育成」を具現化するために「めざす子供像」を「自ら学びに向かう子」「ともに高め合う子」「自己の学びを見つめる子」と設定して授業研究を続けています。金沢の魅力が詰まった「もの・こと・ひと」との主体的なかわりを通して対話を豊かにし、課題に対してよりよく解決しようとする能力を培うことを目指しています。

どのような視点で対話をし、最終的に自己の学びに返すかということについて日々の学習を積み重ねています。



3つの研究の視点である「つなぐ」「つなげる」「つながる」をテーマに、全国24の都道府県の実践が提案されます。

泉 小学校

元文部科学省初等中等教育局主任視学官

嶋野 道広 先生

兼六小学校

金沢大学人間社会研究域学校教育系教職実践研究科

教授 松本 謙一 先生



平成30年度  
全国小学校生活科・総合的な学習  
教育研究協議会役員名簿



水谷  
会  
長

- <顧問>
- 増田 和彦 (元全小生研会長)  
 會田 満 (元全小生研会長)  
 松村 昌俊 (元全小生研会長)  
 万代る里子 (元全小生研会長)  
 船田 信昭 (元全小生・総研会長)  
 寺崎 千秋 (元全小生・総研会長)  
 和田 信行 (元全小生・総研会長)  
 浅田 学 (元全小生・総研会長)  
 井出 政廣 (元全小生・総研会長)  
 清水 一豊 (元全小生・総研会長)  
 茂木 三枝 (元全小生・総研会長)  
 相川 哲也 (元全小生・総研会長)  
 齋藤 純 (前全小生・総研会長)

<会長> 水谷 光一 (東京・墨田区立緑小)

<副会長>

- 北海道ブロック 磯島 年成 (北海道・札幌市立山鼻小)  
 東北ブロック 田口桂一郎 (秋田・仙北市立角館小)  
 関東ブロック 宮崎倉太郎 (東京・武蔵野市立境南小)  
 東京ブロック 宮崎倉太郎 (東京・武蔵野市立境南小)  
 東海・北陸ブロック 未 定  
 名古屋ブロック 菅沼 行生 (愛知・名古屋市立中川小)  
 近畿・大阪ブロック 江口 純吉 (奈良・香芝市立志都美小)  
 中国ブロック 坊田裕紀子 (広島・広島市立中野東小)  
 四国ブロック 白石 ゆり (高知・香美市立香長小)  
 九州ブロック 川上 修司 (大分・佐伯市立松浦小)

<事務局>

- 事務局長 小林 佳世 (世田谷区立明正小)  
 TEL 03-3415-5591 FAX 03-3415-5940  
 庶務 清水 仁 (新宿区立西新宿小)  
 TEL 03-3373-6031 FAX 03-3299-7780  
 会計 富田恵美子 (稲城市立長峰小)  
 TEL 042-331-3111 FAX 042-331-6655  
 広報 長田真理子 (渋谷区立千駄谷小)  
 TEL 03-3402-2562 FAX 03-5474-2683  
 会計監査 石田 恒久 (日野市立日野第一小)  
 TEL 042-581-0061 FAX 042-581-0073

### 分担金納入のお願い

理事の皆様には、お元気でご活躍のことと存じます。

さて、本会は、各都道府県の分担金により、全国大会の補助金(20万円)、生活科・総合教育だよりの年2回の発行(ホームページ掲載により、印刷配布は1回)、理事会開催等に関する経費を賄っております。

ところが、現在分担金の納入に限られた都道府県になっている状況です。さらに、国の補助金が少なくなっています。

是非とも分担金納入に格段の御配慮を賜り、下記までお振り込みくださいますようお願い申し上げます。

### 記

郵便局 記号 10010  
 番号 89682811  
 名称 全国小学校生活科・総合的な学習  
 教育研究協議会

(問い合わせ) 担当 富田恵美子

なお、分担金は一口1万円以上です。

全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会  
 ホームページURL  
<http://www.zenseisouken.net>